

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 037	提案機関名 一般社団法人神奈川県園芸協会
要望問題名 露地切花栽培における生分解性資材の利用	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 コギク、ケイトウ等の露地切花栽培においては、マルチによる被覆栽培が行われている。環境負荷軽減が社会問題となる昨今、露地切花栽培においても廃棄物の減量に取り組む必要がある。 従前の資材はコストが高くかつ分解速度が速いものは展張時の取り扱いが難しかったり、栽培期間中に劣化が始まってしまい、逆に遅いものは土壌混和後も分解が進まず次作の障害となり普及が進まなかった。 近年、新規素材の開発が進みつつある中で露地切花栽培への適応について検討を要望する。	
解決希望年限	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	①実施    ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	当所では露地野菜において「生分解性マルチの新たな活用法の開発」(2019-2023年)に取り組んでいますので、得られた成果等を踏まえ、試験研究課題化を検討します。		
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			